

●代表質問……………②

日本共産党議員団(北村 栄司)
公明党(山本 あさみ)
大阪維新の会(中野 学)
共創みらい(松井 康祐)

●個人質問……………④

深江 容子(日本共産党議員団)
西野 滋胤(大阪維新の会)
中井 勝也(大阪維新の会)
花田 全史(共創みらい)
山本 尚生(政風クラブ)
池永 裕樹(共創みらい)
久山 佳世子(公明党)
小芝 英俊(ええまち狭山)
北 好雄(公明党)

●委員会審査のあらまし……………⑩

●議決結果一覧……………⑪

●議会報告会の報告……………⑫

☆大阪狭山市 議会 我だより

—編集・発行 議会広報委員会—



ヘラサギ(狭山池で撮影)

議会だよりの表紙写真を募集中!

議会事務局 TEL366-0011(内線569)
メール gikai@city.osakasayama.osaka.jp

◆ 一般質問（質疑内容は各議員が作成し、抽選により決定された質問順序のとおり掲載しました。）

代表質問

日本共産党議員団
北村 栄司



日本被団協がノーベル平和賞受賞、
今こそ核兵器廃絶を国へ要請を

問 日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞について。

答 日本被団協は発足以来、核兵器の非人道性を訴え続け、「ノーモアヒバクシャ」の声が世界に発信され、今回の受賞につながった。石破首相には、核兵器廃絶を踏み出す新しい一歩にしてもらいたい。



問 政府に核兵器禁止条約への署名、批准をめざし、令和7年3月に行われる核兵器禁止条約締約国会議へ、せめてオブザーバー参加するよう求めている。

答 唯一の戦争被爆国であり、核兵器保有国と非保有国の橋渡し役としてオブザーバー参加し、積極的な役割を果たすべきと考えている。機会があればしっかりと思いを伝えたい。

要望 本市も加盟している平和首長会議は、令和6年12月1日現在で核兵器禁止条約の早期締約を求める署名活動に約326万筆が寄せられている。しかし、加盟都市の一員でもある古川市長は未だに署名していない。一日も早い署名を要望する。

万博遠足への安全性に不安はないか

問 万博子ども招待事業、いわゆる万博遠足は、会場でのメタンガス爆発事故をはじめ、多くの問題点を議会で度々指摘してきた。現時点で

不安な点はないか見解を求める。

答 大阪府教育庁から一定説明はあったが、下見の時期やバスのキャンセル料の詳細については、まだまだ不透明な部分もあり、不安を持つ教員や保護者もいると聞いている。

問 先生方の声は「万博遠足について、現場では何も進んでいない」、「4月に行く学校が結構あるが、情報がなご過ぎて行きあたりぼったりで本当にうまくいくのか、不安だ」とのことである。そのうえで、次の要望への見解を求める。①下見はどんなに遅くとも、春休み中に実現できるようにしてもらいたい。②その下見により実施できないとの判断をした場合は、尊重してもらいたい。

答 ①下見については、大阪府教育庁へ働きかける。②学校長が実施できないと判断した場合はその判断を尊重する。

市民の暮らし応援、重点支援交付金
活用の早急な具体化を行うこと

答 事業実施に必要な予算は、国の補正予算成立後、調整し提案する。

要望 高物価の中での市民の暮らし応援という、幅広いメニューの支援となることを要望する。

高齢者が増えている高経年マンションの対策について

答 調査、研究していきたい。

身近な市民要望3点、①東小学校体育館入口のハトのフン対策について、②池尻体育館の貸出区分に4分の1面を加えることについて、③運転免許証自主返納支援特典制度の改善について

答 ①専門家の助言も得て新たな対策を行う。②施設や予約システムの改修などが必要となるため実施は困難である。③現行制度の利用状況の推移を見守っていく。

代表質問

公明党
山本 あさみ



大阪府立狭山高校との連携

答 本市と狭山高校は、令和5年1月に包括連携協定を締結している。同高校は令和8年度入学者選抜から普通科が「地域社会に関する学科」となり、その教育課程の作成に向けたコンソーシアムに、市長や教育長が参加している。今後も狭山高校との結びつきを一層進めていく。

要望 本市の魅力学び、実践的にも活かされ、さらには、中学生との交流と学びの場を検討してほしい。

リメイクによるまちづくり

問 ①近大病院等移転後の緑地部分の活用について、②今熊地区の複合施設の運営管理について、③西池尻連絡所の跡地活用について。

答 ①平成3年に保存樹林に指定しており、貴重な樹林地や生態系の保全に向け協議する。②指定管理者制度や包括管理業務委託の導入の検討等、幅広い連携のあり方について検討を進め、時代の変化に応じたサービスの提供が可能となるよう取り組む。③譲渡・売却等を含めて検討していく。

要望 ①池の周辺や保存樹林に癒される遊歩道、子どもたちの夢が広がるような活用を検討し、本市の新たな魅力発信の場となるようにしてほしい。②利用者からも喜ばれる、すてきな憩いのスポットとなるよう要望してきた。運営管理についてもよりよい運営をしてほしい。③跡地活用も含め、狭山駅周辺地域の活性化について取組を進めてほしい。

いきいきと暮らせるまちづくり

問 ①带状疱疹ワクチンの定期接種の実施、②「高齢者活躍地域相

談センター」の設置について。

答 ①国の定期接種化が決定すれば、速やかに接種が開始できるような体制の整備に努める。②国に対し、制度のガイドラインや補助制度の構築などを、市長会を通じて要望する。

要望 ②シルバー人材センターの登録者だけでなく、社会活動や社会貢献ができる活躍の場が広がることで、年を重ねてもいきいきと暮らせるまちになると考える。是非とも、全庁横断的な窓口一本化の高齢者活躍地域相談センターの設置を要望する。

子育てしやすい環境づくり

問 小学生の始業時刻前の預かりの実施について。

答 「小学校の夏季休業中におけるこどもの居場所に関するアンケート調査」の結果を令和7年3月までにまとめる予定であり、この結果を含む国の動向や先進事例を注視する。

要望 全国的にも取り組む自治体が増えている。本市でも、小1の壁にぶつかるのではないかとと思われる。子育てしやすいまちをめざすのであれば、国の結果や動向を見て考えるのではなく、市民ニーズに積極的に応えるように取組を進めていただくよう強く要望する。



国史跡狭山池 附 池守田中家旧宅の保存・活用

答 地域住民をはじめ、池守田中家に関心を持つ方と協働して、市のみならず国の宝である史跡狭山池の保存・活用に取り組む。

代表質問 大阪維新の会 中野 学



公共施設等総合管理基金の新設について

問 令和5年6月定例会議会に引き続き、伺う。

答 財政調整基金の一部を振り替え、各年度に必要な一般財源として充当することで、既存の行政サービスの提供に影響を与えないように進めている。

意見 防災拠点になる公共施設の耐震化への取組が必要である。本庁舎、学校教育施設その他公共施設などの整備に係る財源も必要になると考えられる。

さやりんおでかけサポートについて

問 今後の取組について伺う。

答 当面は試行実施を続け、利用状況や利用者・運転ボランティア等の関係者の意見などを踏まえ、よりよい高齢者移動支援事業となるよう進めていく。

意見 生活支援の中の移動支援である。利用条件の拡大や車両の増車などにより、運転ボランティアが不足することから、若い方にも参加を希望する。



さやりんポイントについて

問 健康促進を目的に運動された方やボランティア活動、自治体や地域での各種事業で活動された方への付与について。

答 令和7年度までを目途とした実証事業と位置づけ、まずは本市が実施する事業のみを対象に取組を進めている。

意見 狭山池を1周歩いたり、遊歩道等に設置の健康器具を利用することでもポイントの付与を期待する。

マイナンバーカードを使った救急搬送の迅速化システムの導入について

問 救急車に設置された端末でマイナンバーカードを読み込むことで病歴や薬の使用の有無を判断でき、搬送時間の短縮や処置を早めることが可能ではないか。

答 全国規模の実証事業が順次展開され、効果が一定確認された。

意見 情報を把握することが容易になり、救急活動の迅速化や円滑化による相乗効果が期待できる。堺市消防局での導入を希望する。

高齢者や障がい者等が利用する施設の今後の予定について

問 普段の活動には継続が必要であり、今熊地区に整備を計画する複合施設については、利用者の環境の変化が少なくなるような計画を望む。

答 現地建替えという性質上、既存施設の解体や新たな複合施設を建設する期間については別施設での活動の場を検討している。

要望 市民、利用者のための施設であり、しっかりと市の施策を反映していただくよう要望する。

問 今熊地区に整備する複合施設に対する今後の市長の思いを伺う。

答 限られた財源の中で、さらなる市民サービスの向上をめざして、市民の皆様が喜び、笑顔があふれ、自然と交流が生まれるような、誰からも愛される施設をめざしたい。

意見 ボランティアが集えるスペースや、安らぎを感じる空間を期待する。

※誌面の都合上、「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」は「万博」、「近畿大学病院」は「近大病院」と適宜、表記しています。

代表質問
共創みらい
松井 康祐



安全でにぎわいのあるまちづくりに
向けた市長の夢について

問 ①現在、第五次総合計画の中
間見直しが行われている。この見直
しにどのような夢を盛り込まれるの
か。②万博が開催される。近畿経済
産業局では、拡張万博と称し地元へ
の経済効果を最大限に高めるための
アクションが必要だとしている。本
市の発展に結びつけるため、どのよ
うな夢を抱かれるのか。③気象庁は
南海トラフ地震臨時情報（巨大地震
注意）を運用開始後初めて発表した。
近年の多発する災害を考えると、そ
の備えは新たなステージに進まなけ
ればならないと考えるが。

答 ①今熊地区周辺エリアにおけ
る複合施設の整備に向けた検討や、
近大病院移転後の跡地における土地
利用計画の協議・調整を含む狭山
ニュータウン地区の再生・活性化な
ど、大きなプロジェクトが始動した
ところであり、今後のリメイクによ
るまちづくりをより実践的に取り組
んでいくための基礎固めの期間であ
ると考える。今後も人と人との深い
つながりをさらに育みながら、子ど
もから高齢者に至るまで、全ての人
が住みよいと思えるまちをめざす。
②万博の開催期間中はもちろん、開
催前も企業や世界各国の方々が多数
関わっていることから、開催後もこ
うした企業との協働や諸外国との交
流をより一層深めるなど、万博の波
及効果を最大限に引き出し、まちの
さらなるにぎわい創出につなげたい。
③大規模災害を想定した場合、
膨大な災害対応業務を市単独で行う
のは極めて困難であり、民間事業者
との災害時応援協定などにも積極的
に取り組む。継続して一人ひとりが

防災を身近なものとして捉え、災害
に対する知識を高める「人づくり」
が大切だと感じている。



誰もが安心して利用できる地域医療
について

問 地域医療とは、医療機関の枠
を超えて地域住民が安心して生活で
きるよう健康を支える医療体制であ
り、各機関の機能の分化・連携を進
めながら、地域全体で住民の健康を
サポートすることが求められている。
近大病院移転後も、市民が安心して
暮らすことができる地域医療を提供
するための本市の取組について。

答 今後も市民の安心につながる
よう、新病院が市内医療機関と連携
を図るための会議の調整や、介護・
福祉の機関との連携につながる支援
に努めるとともに、引き続き大阪府
と連携しながら、広域での取組や医
療機関の連携による地域医療機能の
維持・確保に努める。

一歩進めた防災への取組について

問 近年、自然災害は頻発化・激
甚化しており、毎年のように全国各
地で大規模な災害が発生している。
南海トラフ地震などの大規模災害も
予想されており、避難所のさらなる
質の向上が必要と考える。

答 内閣府の避難所における生活
環境の確保に向けた取組事例や、海
外における取組事例など、広く調査・
研究し、引き続き避難所における質
の向上にも取り組むとともに、必要
な物資・備蓄の充実を図る。

個人質問
深江 容子



子どもの医療費完全無償化の実現を

問 子育て先進都市をめざす本市
において検討を進めていただきたい。

答 本市は18歳まで助成を行っ
ており、無償化は困難である。国に
対しては全国共通の制度の創設、大
阪府には助成対象年齢拡充を求める。

本市の保育環境について

問 保育士の配置基準が76年ぶ
りに改定されたが、全国的に保育士
不足が問題である。本市では、安全
に保育できる配置になっているのか。

答 全ての園が基準通りに配置し
ている。本市として、国の補助金で
保育支援者などの配置も行っている。

病後児保育の充実と
病児保育の実現を

個人質問
西野 滋胤



本市のGIGAスクール構想におけ
る児童生徒1人1台の学習端末の更
新について

問 令和2年12月より導入され
た端末の更新時期が迫っている。今
後のスケジュールについて伺う。

答 端末のOSサポートが切れる
令和7年度に端末の更新を予定して
いる。端末の調達については、国の
補助金を活用する大阪府公立学校情
報機器共同調達協議会に参加し準備
を進めているが、大幅に遅れること
も想定される。

要望 OSサポートは令和7年10
月14日で終了する。サポート終了後
はウイルスなどの感染リスクが高ま
るため、サポートが切れる前の調達
に注力すること、また、大幅に調達
が遅れた場合の対応を検討しておく

問 旧狭山・美原医療保健センター内の病後児保育室は、公共施設の再配置後はどうなるのか。

答 現在運営している認定こども園の一室を借りて実施できるように協議を行っている。

問 病児保育実現に向けての進捗状況を問う。

答 保育所施設内にスペースを設け、医療機関と連携する方法について検討を進めている。

道路の安全対策について

問 通学路の危険箇所の把握・改善はどのように行っているのか。大野東地域からの通学路（府道富田林泉大津線）での安全対策を求め。

答 通学路交通安全プログラムに基づき、学校・保護者・道路管理者・黒山警察署など関係機関と協議し、安全対策を実施している。また、該当路線には歩行空間を確保できない

ことを要望する。調達後は、約5千台の現行端末の処分により個人情報流出しないよう、完全粉碎などの徹底的な対応と予算化を要望する。

市民を守るための災害に向けての本市の取組について

問 ①地区防災計画について、②避難所運営について、③市内一斉シェイクアウト訓練・安否確認訓練について、見解を伺う。

答 ①地区防災計画は、自主防災組織や自治会等が主体となって作成するものである。自主的な防災活動を継続していただくことが重要と考える。②昨年度は北・南第一・南第二小学校で、自主防災組織と学校等が連携し、避難所運営マニュアルを活用した避難所運営訓練を実施していただいた。③令和7年1月26日に、市内一斉シェイクアウト訓練と安否確認訓練との連動訓練を行う予

箇所がある。路面標示や啓発看板などの交通安全啓発を検討する。



終活サポート・

終活支援事業の実施を

問 少子高齢化、核家族・単身世帯化が進む中で、人生の最期を考えると不安に感じている高齢者がいる。終活支援事業についての検討を求め。

答 エンディングノートを発行したり、地域包括支援センターでは身元保証や手続事務等の相談活動も行ったりしている。今後は国の制度設計や先進事例を注視していく。

定である。

要望 ①令和6年12月14日に開催される池尻地区自主防災組織主催の防災訓練において、出前講座の講師として本市危機管理室職員が講演する予定である。今後も積極的に各地区に出向き、地域の方と顔の見える関係を構築するよう求める。②北・南第一・南第二小学校以外の小学校でも実施されるよう、地元自主防災組織への働きかけとサポートを求める。③令和6年10月に中止となった防災フェスタに代わる事業を、令和6年度内に行うよう要望する。



議会を傍聴 しませんか

3月定例会議会

2月20日(木)	議会運営委員会
26日(水)	初日
3月10日(月)	代表質問
11日(火)	個人質問
13日(木)	建設厚生常任委員会 総務文教常任委員会
18日(火)	予算決算常任委員会
19日(水)	予算決算常任委員会
21日(金)	予算決算常任委員会
26日(水)	最終日

上記の会議は、 YouTube で生中継しています。開始時刻は市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。



■パソコン ■タブレット
■スマートフォンでご覧ください

▶▶▶ **大阪狭山市議会公式
YouTube チャンネルは
コチラ**



▶▶▶ **大阪狭山市議会
ホームページはコチラ**

大阪狭山市議会ホームページでは、会議録や定例会情報、議員名簿、その他議会からのお知らせなどを掲載しています。



個人質問 中井 勝也



狭山ニュータウンの活性化について

問 狭山ニュータウン地区再生推進計画の進捗状況について。

答 狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議が主催する狭山ニュータウン魅力発見フェスタが成果を上げている一方で、情報発信や空きスペースの活用は、より多くの市民参加、担い手の確保が必要となるなど、様々な課題が表れている。

令和7年度以降、シンボルプロジェクトを効果的に推進する体制などについて、推進会議との連携のもと、連絡会議などで検討していく。

要望 市がしっかりと率先し、毎年PDCAサイクルにより、進捗管理と計画の推進をする仕組みを構築するよう要望する。

本市の今後の公共交通の見通しと、ライドシェアの導入について

答 本市の公共交通は、バス事業者により路線バスと市循環バスが運行されており、全ての地域でバス停から半径500メートル以内に住居があり、交通空白地がなく、タクシーも常に運行されていることから、過疎地での公共ライドシェアの対象地域ではない。今後も国の制度変更や大阪府の動向を注視しながら、引き続き交通事業者と協議、検討する。



要望 2025年の近大病院の移転後、人の流れや採算を見て、どのよ

うな展開になるかは予断を許さない。運転免許証を返納した高齢者等も気軽に外出できたり、災害時等に助け合えたりする仕組みを、公共ライドシェア等を使って実現できるよう、仕組み構築の準備を要望する。

小学校での早朝受入れについて

答 国の動向や先進事例も参考にしながら、調査・研究する。

要望 まずはしっかりとニーズを把握し、実証事業として一部の小学校からでも導入することを要望する。

こども未来フォーラムの総活と今後の開催、子どもたちの提案について

答 子どもたちが自分の地域のことを考え大切に思う心を育てる、今回のフォーラムのような機会を継続するとともに、子どもたちの意見が少しでもまちづくりに反映されるよう、担当部局とも連携していく。

個人質問 花田 全史



災害時の受援について

問 能登半島地震で派遣した職員の経験の共有と、災害受援計画の策定について。

答 計9名の職員を石川県輪島市へ派遣した。職員災害対応能力向上研修を通じて共有を図り、今後の災害対応につなげる。

受援計画については、大規模災害により外部からの人的、物的応援を円滑に受け入れ、災害救急対策や被災者支援に必要な計画であると認識し、策定に向けて取り組む。

要望 派遣された職員が被災地から学ぶことは多く、また、積極的に派遣することで、職員の意識の変化も見られる。

今後の災害対応につなげていただきたい。

コミュニティ・スクールの推進について

問 現在7名の地域学校協働活動推進員が活動しているが、来年度募集する3名の位置づけについて。

答 来年度は会計年度任用職員として、各中学校区に1名ずつの任用を予定している。現行の推進員のサポートを得ながら、持続可能な地域学校協働活動の推進に努めていく。

要望 子どもたちがいきいきと暮らせる地域づくりを推進するため、学校教育、家庭教育、社会教育が枠組みを超えて連携し、未来を担う子どもたちにとって、よりよい学びを提供いただくよう要望する。

資源ごみの持ち去りについて

問 粗大ごみ収集日の前夜から当日の朝にかけて、他府県ナンバーの軽自動車に小型家電や金属類といった資源ごみを持ち去る事案がある。

答 第三者により無断で資源物のみ持ち去られる事例が発生していることは、ご指摘のとおりであるが、ごみとして出された資源物は、所有権が放棄されたとみなされる。ごみを確実に収集・運搬できるよう、市ホームページで資源物の持ち去り行為を認めない意思表示を行い、実効性のある取組を調査研究していく。



その他、若年性認知症患者への支援について、西除川第二排水区雨水調整池の表面利用について質問しました。

個人質問 山本 尚生



住み続けたいまちの実現について

問 本市は、住みよいまちとして、好評を得てきた。第五次総合計画の中間見直し中であるが、住み続けたいまちの実現への取組を伺う。

答 人口減少が全国的に進むなか、すべての人に選ばれるまちとしての魅力や価値が求められていると考えている。市内外、世代を問わず広く皆様にまちの魅力を感じていただけるような、新たな強みや優位性を見出していきたい。

英語力の向上について

問 国は、中学校卒業時の英語力の目標「CEFR A1レベル、(英検3級相当)の生徒数50%」を、今後、60%にするとも言われている。本市の状況と対策を伺う。

答 本市の生徒の英語力は、令和4年度が56.5%、昨年度は72.9%、今年度は75%程度となる見込みである。中学2年生、3年生の一人ひとりの定着状況を確認している。デジタル英語学習ツールも小中全学校に導入し、英語の発音やアクセントをAIが判定するなどの取組も進めている。

こども誰でも通園制度について

問 保護者の就労の有無にかかわらず、保育所や認定こども園などを利用できる「こども誰でも通園制度」が一部の自治体で試行されている。本市の対応を伺う。

答 東野幼稚園は、令和7年度は4歳児、5歳児の2学年、また、令和8年度には5歳児のみの運営となることから、その空き教室を活用し、すでに試行している自治体の事例も参考にしながら、令和8年度から

が期待される。

小さな子どもの窒息に対する措置について

問 0歳児の死亡事故で圧倒的に多く発生している窒息について、4か月児健康診査などの際に、窒息時の措置について実践できる機会があれば、事故死を防ぐ上で有益に働くと考える。



答 生後2か月頃に行う乳児家庭全戸訪問事業での訪問において、危険箇所などの家庭環境を観察しつつ、危険な状態が見受けられれば改善を

の実施に向けて検討している。



生活道路等の本市の道路改修計画について

問 生活道路の本格的な路線改修が必要と思われる。本市の見解を伺う。

答 本市では、5年に一度の点検を行っている。生活道路は、路線全体を打ち換えるのではなく、職員や業者による維持補修を行っている。また、区画線や道路標示は、日常的に点検と改修を行うことで、市民の安全対策に努めている。

サポートしている。議員が提案する対処法の実践については個々の指導の中で必要なときに丁寧に説明していくと同時に、イベントや講演会等に取り入れることも検討していく。

世代間交流を通じた投票率向上について

問 投票率の低下傾向に対する意識、世代間の投票率の高低に対する考え、世代間交流を軸とした投票率向上の取組の可能性について。

答 先に行われた第50回衆議院議員総選挙の小選挙区の投票率は前回は下回り、戦後3番目の低さとなった。本市の投票率は全国平均であり、大阪府や第15区の投票率を若干上回る結果となっているが、若年層の投票率の低さも見受けられる。今後もあらゆる機会を通じて関係機関と連携を図りながら選挙の模擬投票、出前講座などに取り組んでいく。

個人質問 池永 裕樹



“行かない市役所”の展望と進捗に係る数値目標の設定について

問 オンライン申請の拡充による“行かない市役所”の実現は、市民の利便性を大きく向上させる改革であると考えている。今後の見通しと取組を計画的に実行していくにあたっての数値目標の設定について。

答 国が特にオンライン化すべき手続として挙げている26項目中10項目を完了しており、取組は道半ばである。新基幹システムへの移行に全力を傾注し、オンライン申請の拡充を進めていく。数値目標については策定予定の行財政運営戦略プラン2025の中で示していきたい。

意見 現状オンライン申請可能なものがゼロである介護保険分野の充足

個人質問 久山 佳世子



障がい児福祉支援体制の充実を

問 障がい児通所支援における通所受給者証の支給量上限の引上げを求める。

答 児童発達支援の利用状況は年々増加傾向にある。厚生労働省の通知に基づき、個々の給付決定を行っている。支給決定前には支援の必要性や内容とそれに要する時間等について、申請者、事業所等に十分確認し、障がい児の状態等を考慮した上で、必要な日数を決定している。

要望 適切な状況の判断のもと、親の就労状況による支給量の付与の検討と相談支援専門員と丁寧な窓口対応の充実を要望する。

コミュニティ・スクールの 今後について

個人質問 小芝 英俊



金剛駅周辺をにぎわいと

魅力があふれる市の中心拠点に

問 金剛駅は、特急・急行が停車する市の玄関口である。今熊地区における複合施設の整備や狭山ニュータウン再生を控える中で、今こそ本腰を入れて、金剛駅周辺の整備に取りかかるべきである。

答 立地適正化計画では、交通利便性の高い大阪南部の核となる広域的な交通結節点の形成をめざすと位置付けており、必要な整備を進める。

要望 とにかく実行を求める。

子どもの権利を守る

子どもオンブズパーソンの設置を

問 いじめによる自殺や不登校が増加する中で、学校・教育委員会とは別に、独立した公的な救済機関と

問 コミュニティ・スクールのさらなる周知について。

答 本市は、施設分離型小中一貫校でもあることから、今年度末には、この学校運営協議会を中学校区ごとにするによって、中学校も含めた市内全ての学校がコミュニティ・スクールとなる予定である。地域の方に協力いただく地域未来学習の充実や、まるごとパック事業、また、市広報誌の活用や、こども未来フォーラムのユーチューブ配信等、様々な機会を通じて周知を進めていきたい。

要望 市広報誌への定期的な掲載を要望する。

安全で安心できるまちづくりを

問 住宅用の防犯カメラや防犯機器を設置する世帯に対して補助金の交付を求める。

答 防犯委員会や小学校区地域防犯ステーションなどの運営団体によ

しての子どもオンブズパーソンの設置を求める。

答 今後も関係機関と連携しながら、相談・支援に努める。

教育基本条例について

問 大阪府・大阪市のような教職員管理の条例は知らない。

答 本市の教育をまちぐるみで推進することを目的に、現在策定中である。

要望 条例案を示すべきである。

万博への学校行事としての

参加について

答 引き続き情報提供に努める。

要望 安全確認もされないまま実施ということにならない確約を求める。

多文化共生社会の推進に向けて

答 大阪狭山市人権行政基本方針に沿って、多文化共生のまちづくり

る防犯啓発活動、市職員、地域の防犯団体等による青色防犯パトロール車による防犯パトロール、不特定多数が利用する公共性の高い場所などを中心に、街頭防犯カメラの設置、自治会等への防犯カメラ補助による支援などを行い、地域と行政が連携し、街頭犯罪に遭わないよう、未然防止に取り組んでいる。自動通話録音装置も有効である。空き巣防犯対策などの防犯講演会を開催し、令和7年3月には安全安心セミナーにて、侵入窃盗や空き巣対策について防犯講演等を予定している。



に取り組む。

要望 外国人の若者も住み続けたい大阪狭山市にしてほしい。



市立幼稚園とこども園の統合について

問 4園を1園にすることには反対の声が大きい。納得のいく保護者説明会を求める。

答 令和7年1月24日から順次開催する予定である。

意見 徒歩・自転車で通える幼稚園を廃園にすることには反対である。住民の声にもっと耳を傾けるべき。

個人質問
北 好雄



敬老祝いポイントカードについて

問 昨年度までの敬老祝金支給事業に変えて、敬老祝いポイントカード（さやりんポイントカード）を贈呈することとなった。このカードは、市内の加盟店で利用できるものであり、地域経済の活性化にもつながるというものである。満88歳の方に2万円のポイントカードを贈るよりは、昨年度までのように現金を贈る方がよいのではないかと。



答 高齢者福祉の増進と市内の地域経済の活性化を目的として事業実施をしている。今後とも、関係部署と連携し、さやりんポイントカードの利便性の向上に努めていく。

イルミネーションについて

問 本市では、狭山池北堤を中心にイルミネーションを実施している。狭山池北堤だけでなく、狭山池の南堤や金剛駅前等で実施してほしいとの声がある。狭山池の南堤や金剛駅前等では実施しないのか。

答 イルミネーションの実施場所については、立ち止まって、又は、歩きながら楽しめる方、通行する方など、それぞれの安全面から一定の広さの道幅があること、併せて駐車場があることなどの利便性も考慮する必要がある。

引き続き、狭山池北堤を中心に取り組んでいく。

高齢者移動支援事業・さやりん
おでかけサポートについて

問 本市は、高齢者移動支援事業・さやりんおでかけサポートとして令和6年10月1日より試行実施している。①試行実施が始まってから2箇月になるが、現在の状況はどうなっているのか。②現在は1人あたり月2回までの利用制限があるが、回数を増やすことを考えてはいないのか。③運転ボランティアの活動謝礼は1回につき700円となっているが、引き上げることは考えていないのか。

答 1人あたり月2回までとしている利用回数を増やすことや、運転ボランティアへの謝礼の引上げについては、当面の間は試行実施を続けていく中で、利用状況や利用者・運転ボランティア等関係者の意見などを踏まえ、よりよい高齢者移動支援事業となるよう進めていきたい。



可決した意見書の要旨

●性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続と体制強化を求める意見書について

性暴力救援センター・大阪SACHICOは、平成22年度から病院拠点型のワンストップ支援センターとして、松原市にある阪南中央病院内において24時間体制で性暴力被害者の支援を行ってきた。国や大阪府からの補助金は運営費のごく一部でしかなく、維持費の多くを阪南中央病院が負担し、不足分を寄付金等で補ってきたが、医師不足や医療現場での働き方改革もあり、令和7年3月末をもって阪南中央病院から撤退せざるを得ない状況にある。

性暴力救援センター・大阪SACHICOの活動拠点を大阪府の責任において速やかに確保し、運営費用を保障すること、公的医療機関を拠点とする性暴力被害者のワンストップ支援センターを設置することを大阪府に求めるもの。

1月8日 (令和7年)	19日	17日	16日	11日	10日	12月9日	28日	21日	11月11日	9日	30日	10月28日 (令和6年)																					
広報委員会	本会議(最終日)	全員協議会	議会運営委員会	広報委員会	全員協議会	予算決算常任委員会	再生調査特別委員会	狭山ニュータウン	総務文教常任委員会	建設厚生常任委員会	本会議(個人質問)	本会議(代表質問)	幹事長会議	本会議(初日)	(12月定例会議)	全員協議会	議会運営委員会	再生調査特別委員会	狭山ニュータウン	幹事長会議	全員協議会	議会運営委員会	建設厚生常任委員会	所管事務調査	池守田中家旧宅の見学	議会報告会	議会運営委員会	建設厚生常任委員会	所管事務調査	建設厚生常任委員会	所管事務調査	総務文教常任委員会	全員協議会

議
会
日
誌

委員会審査の あ ら ま し

議案は常任委員会に付託され、審査されました。
主な内容は次のとおりです。

建設 厚生 常任委員会

イベント時における狭山池周回遊歩道の閉鎖区域の開放についての要望

意見 **不採択** 狭山池周遊路の閉鎖区域は、付近の住民に対するプライバシーの問題から一般に開放せず、木橋を周遊道路として設置した経緯があり、この閉鎖区域は地域住民の合意の上で開放できるものである。

令和6年8月に行われた狭山池での花火大会では、安全対策として、黒山警察署との協議の上で警備計画を立て、木橋から花火が見えないよう目隠しの設置や、木橋の出入口に誘導員や市職員を配置するなど、人流を滞留させない対応を行っている。

災害等の緊急時の開放については、管理者や地域住民と協議し、前もって協力要請と合意を得ること、また、イベント時における安全対策を必ず実行するよう求め、不採択。

採択 兵庫県での明石花火大会歩道橋事故や、韓国ソウルでの雑踏事故など、想定以上の人が集まることで大きな事故が起きている。

令和6年8月に行われた狭山池での花火大会は、予想を上回る3万人の参加があったと言われており、次の開催ではその倍の6万人と相当な人数が予想されている。

木橋の崩落だけでなく、木橋付近で人が将棋倒しになるなどの事故が懸念される。閉鎖している周遊路の開放は安全対策の一つとして対応していくべきと考え、採択。

総務 文教 常任委員会

可決 附属機関設置条例の一部改正

問 公の施設の整備等事業者選定委員会を設置するとのことであるが、どのような人材を求めているのか。

答 この選定委員会における委員の選定については、今後、規則を定めて行っていくことになるが、公共施設再配置について識見を有する人物やランドスケープ等に長けた人物、また、企業の経理や経営に関して識見を有する人物などを外部有識者として想定している。

予算 決算 常任委員会

可決 令和6年度(2024年度)一般会計補正予算(第7号)

問 電子黒板、デジタル指導書及び児童の机の天板拡張器具の購入によって期待できる効果について。

答 電子黒板は、画面に直接タッチペンで書き込みができるタッチディスプレイ型であり、教員が画面に映像を大きく映したり、画面に手書きで書き込みをしながら説明ができ、子どもたちの興味・関心を高めるとともに、より視覚的にわかりやすくなり、学習の理解が深まると考えている。

デジタル指導書は、必要な部分の拡大縮小や回転、図形を動かしたり、動画の再生や読み上げている文字が反転するなどの機能を備えており、電子黒板と組み合わせることで、より理解を深めることができると考えている。

児童の机の天板拡張器具は、学習机に簡単に取り付けことができ、机の面積を拡張することができる。1人1台の端末と教科書やノート、その他の資料を同時に広げることができる。また、落下防止ガードもついているため、端末の落下による破損も防ぐ効果があると考えている。

意見 デジタルのよさを生かしながら、教員が積み重ねてきた従来型の教育を合わせ、個別最適な教育を展開していくことを期待している。

問 学校給食物価高騰対策事業費補助金の内容について。

答 学校給食で使用する米の契約は、12月から翌11月までとしている。令和6年12月から使用する米の価格が同年11月までと比べて倍増していることから、令和7年3月までの4箇月間に使用する米の費用として補正予算を計上している。

問 航空消防運営費負担金の内容について。

答 平成22年に整備されたヘリコプター「なにわ」の法定点検を行ったところ、エンジンに不具合が発見され、修理が必要となることから、その修理費にあたる負担金を計上している。

問 本市における消防ヘリコプターの活用について。

答 災害時の活動で要請したことはないが、消防出初式や防災訓練等で要請している。

1 2月定例会月議会で審議された案件と議決結果

議案名	会派名 議員名	えまち狭山	大阪維新の会				創 みらい			公明党			政風 クラブ	日共 産党 議員	本党 団 員	議決結果
		小 芝 英 俊	中 井 勝 也	中 野 学	西 野 滋 胤	池 永 裕 樹	鳥 山 健	花 田 全 史	松 井 康 祐	北 好 雄	久 山 佳 世 子	山 本 あ さ み	山 本 尚 生	北 村 栄 司	深 江 容 子	
人 事	人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	適 任
条 例	附属機関設置条例の一部改正	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
令和6年度 補正予算	一般会計（第7号・第8号）／国民健康保険特別会計（第3号）／池尻財産区特別会計（第3号）／半田財産区特別会計（第1号）／東野財産区特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
要 望	イベント時における狭山池周回遊歩道の閉鎖区域の開放についての要望	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
意見書	性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続と体制強化を求める意見書	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可 決

◆表の見方 会派名及び議員名は、50音順。『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『★』は議長につき採決には参加していないことを示しています。

国史跡狭山池 附 池守田中家旧宅を見学しました

国史跡狭山池に附（つれたり）として追加指定された池守田中家旧宅の見学の様子



令和6年10月30日（水）実施

議会報告会を開催しました

令和6年(2024年)11月9日(土) 大阪狭山市立コミュニティセンター

令和5年度(2023年度)の一般会計決算や条例等の審査状況など、9月定例会議会の内容について報告しました。第2部の意見交換会では、「大阪狭山市のめざす姿」をテーマとして、2グループに分かれ、自由に意見を述べていただきました。グループワーク形式で実施し、ご参加いただいた市民の皆様から数多くのご意見をお聴きすることができました。



意見交換会の様子 Aグループ



意見交換会の様子 Bグループ

担当議員

内容(意見・要望など)

Aグループ

池永裕樹
北好雄
鳥山健
中野学
西野滋胤
深江容子
山本尚生

市内に商業施設が少なく、地域経済に貢献する場所がない。

自治会等がなくなって行政は危機感を感じないのか。

地域に団体がありすぎるように思う。思い切った市民活動の再編を。

孤独死や独居対策について、自治会任せでなく、市としてしっかり対応してほしい。

若い人に向けて、大阪狭山市の魅力を発信する方法はなにかあるのか。

狭山ニュータウン地域で朝の見守り活動をしているが、信号無視の車もあり、とても危険に感じており、対策を求める。

議会の慣習が古臭い。全くオープンになっていないと感じる。

議会報告会の回数を増やしてほしい。

Bグループ

北村栄司
久山佳世子
小芝英俊
中井勝也
花田全史
松井康祐
山本あさみ

ペット同伴避難があたり前にできる地域をめざしていけたらいい。

税収増加や狭山ニュータウンの高齢化・空き家対策、若い人の他市への流出を防ぐ取組や企業誘致など。

若者が定着するよう、他市町村と連携して働く場をつくる政策を。

人口減少・高齢化の課題にどう取り組むか。

短期的なものではなく長期的に子育ての世代が参画できる取組・誘致を考えてはどうか。

自然も近かつ利便性もある場所なので、地の利を活かした魅力を発信してはどうか。

金剛駅周辺がにぎわいの拠点と言われているが、全然発展していない。駅周辺の開発を。

SNSを活用して、議会報告会にいろいろな世代の人が参加できるように周知を。

誌面の都合上、議会報告会でいただきましたご意見、ご要望などをすべて掲載することができませんが、皆様からいただいたご意見、ご要望などについては、本市の行政側に対して必要なものはお伝えし、各議員の議会質問などの参考とさせていただくとともに、本市議会の活動をさらに充実するために活用させていただきます。

▶▶▶ 市議会ホームページで、これまでの議会報告会の内容を掲載しています。

大阪狭山市議会

検索